

にじ

7月号
2024
Vol.195



高知医療センター
Kochi Health Sciences Center

太陽と見つめ合って

撮影 地域医療連携室 武正 和也



CONTENTS

- ② 就任のご挨拶
- ③ 地域で取り組む感染対策
- ④ 新任医師のご紹介
- ⑦ 架け橋になります!!
- ⑧ 初期臨床研修医のご紹介
- ⑩ 影の立役者
- ⑫ 大切なお知らせ／イベント情報／information



「医療の主人公は患者さん」 を実現する

はま だ ひとし
濱田 仁
統括調整監 兼 事務局長



令和6年4月1日付けで統括調整監兼事務局長を拝命いたしました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は十数年前にも当院の運営に関わっており、こころのサポートセンターの開設や基幹災害拠点病院の指定、ドクターヘリの場外離着陸場の設置など、病院機能が次々と充実されていったことを思い出します。

当院は、地域医療支援病院でもあり、手術支援ロボットの導入など常に最新の医療技術や治療法を導入し、県民の皆さまのニーズに応えるために日々努力しておりますが、この役割を果たすためには地域の医療機関との緊密な協力が不可欠です。協力には相互の理解と信頼関係の構築が重要であり、お互いを尊重し積極的な情報共有や連携を進めることで、より良い医療サービスを提供できると考えております。

■患者さんのことを第一に

このような中で、私は統括調整監として6局（医療局、看護局、薬剤局、医療技術局、栄養局、事務局）の調整役を担いながら、事務局長として病院の運営・管理面を支える大事な役割を担っており、各局と連携しながら患者さんのことを第一に考え、当院がより円滑に運営されるよう取り組んでまいります。

高知医療センターの理念である「医療の主人公は患者さん」を実現するため、地域医療連携を基本とした自治体病院としての役割を果たすとともに、経営の健全化に取り組んでまいりますので、これまで以上のご協力をよろしくお願い申し上げます。

モチベーションアップで 好循環に

にし もり ゆかり
西森 由加里
医療技術局長



令和6年4月1日付けで医療技術局長に就任いたしました。就任にあたりご挨拶申し上げます。

私は臨床検査技師として、高知市立市民病院時代から高知医療センターの開院にも携わり、現在まで勤務してまいりました。開院から19年の間に医療技術局のスタッフは増加し、今では臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、視能訓練士、看護師、事務員の11職種119名ものスタッフが所属しております。この多職種の専門職集団をまとめる職責の重さに身が引き締まる思いです。

■3つの目標

医療技術局には、目標が3つあります。自らの専門性を発揮するために、『自立』と『自律』の姿勢で取り組み「専門業務を実践する」こと。局の部門間や他局の部門間の

コーディネートを実現し、「チーム医療を充実させる」こと。教育研修活動によりお互いが協働連携して、「医療技術の向上を目指す」こと。この3つの目標に向かって、みんなが進めるようにしていくことが私の仕事だと思っています。

私たちを取り巻く環境も大きく変化し、現在は医師業務のタスクシフトや、新しい技術の導入、業務拡大などに、取り組んでいます。そのためには学術活動や研修会への参加によって新しい情報の入手や、各種認定資格を取得し日々研鑽を積み重ねてスキルアップしていくことが、質の高い医療技術の提供には不可欠です。職員のモチベーションがアップするようにワークライフバランスも充実させ、医療技術スキルの向上、チーム医療への貢献、患者さんへの質の高い医療技術の提供、という好循環へと繋がるように尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域で取り組む 感染対策



はまだ いっせい
薬剤局 感染対策チーム 薬剤師 濱田 一成

高知医療センター（以下、当院）では患者さんの治療にチームで取り組んでいます。今回は感染対策と感染症治療を専門としているICT(Infection Control Team)とAST(Antimicrobial stewardship Team)における薬剤師の取り組みについて紹介させていただきます。

昨今、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響で感染対策という言葉が非常に注目されるようになりました。その影響もあり新興感染症にも対応できる、効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が重点課題の1つとして位置付けられました。また令和4年度の診療報酬改定で、「感染防止対策加算」から「感染対策向上加算」へと名称が変わり、従来の各自の院内感染対策だけでなく、加算を算定している医療機関同士のつながりをさらに強化し連携することが必要となりました。特に、当院のような感染対策向上加算1を算定している病院では、加算2・3の病院、診療所、保健所も含めた地域全体の感染症対策を支援する役割も担っており、連携体制の構築が求められています。

広く深い感染対策

まず当院の感染対策について紹介いたします。当院には感染対策センターがあり、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員が在籍しています。主な活動内容は、①院内で生じる医療関連感染症のサーベイランスの実施、医療関連感染症の低減のための介入②院内の薬剤耐性菌サーベイランスの実施③定期的な病棟及び外来の巡視と

指導④医療関連感染症に関する職員への教育・啓発⑤保健所などの行政組織との情報共有と連携などです。

地域医療機関との連携

「感染対策向上加算」の算定の要件に、以前から行っていた年4回以上の定期的なカンファレンスの他に、今回新しい要件の新興感染症の発生等を想定した訓練の実施などが盛り込まれました。

・各施設と定期的なカンファレンス

現在、加算2・3の病院と年4回の合同カンファレンスを実施しています。ここでは各施設の薬剤耐性菌等の分離状況、手指消毒薬の使用量、抗菌薬の使用状況のデータを当院でまとめ各施設の皆さまと共有し、意見交換を行っております。他にもテーマを決めて各施設の感染対策の実施状況、感染症患者の発生状況についても共有・意見交換しており、各施設の感染対策で工夫していることや困っていることなどの課題も共有し改善策について検討・助言できるような体制を整えています。

・J-SIPHE(感染対策連携共通プラットフォーム)を有効活用

カンファレンスで使用する資料は各施設から提出されるデータを基に作成しております。以前は独自に作成したツールを使用し集計しておりましたが、令和5年度からはJ-SIPHEを活用して薬剤師が作成しております。J-SIPHEとは厚生労働省委託事業AMR臨床リファレンスセンターが主体となり感染症対策に関連するデータを集約し、医療機関や地域ネットワークで活用できるプラット

フォームです(図1)。各施設のデータを登録することによって、図表として閲覧することが可能となります。これによりAMR(薬剤耐性)関連のデータを収集し、感染症の診療や対策に役立てることが可能です。また、全国と同じ加算を算定している施設と比較・評価することも可能です。地域の抗菌薬使用量を継続的に監視し、薬剤耐性の変化や拡大の予兆を把握し、薬剤耐性菌の拡大阻止、抗生剤の適正使用に繋がれたいと考えております。

・新興感染症の訓練

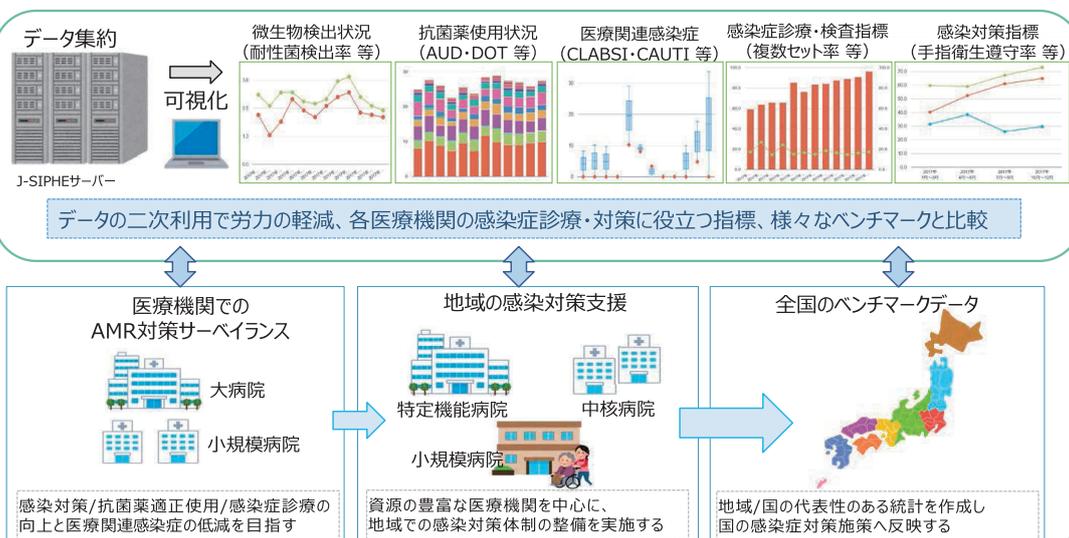
昨年度は、新興感染症が発生し感染患者を受け入れることを想定し、汚染区域や清潔区域のゾーニングの確認、個人防護具の着脱をワークショップ形式で実施いたしました。

使命を担って

大規模な新興感染症が発生すると、一つの病院のみでは対応が難しく他医療機関との協力が不可欠です。地域で連携していくことで、薬剤耐性菌、流行感染症などに必要な感染対策を実践することができます。そのためにも、平時から顔の見える関係性を構築し、緊急時に迅速に相談・支援が行える連携体制を作っておくことが大切です。また感染対策向上加算1を算定している当院は、地域全体の感染症対策をも支援し、その中心的役割を担う使命があります。前述のような取り組みを活かし、今後も医療機関同士の連携により、地域における感染対策をさらに推進していきたいと思っております。

図1

J-SIPHE 感染対策連携共通プラットフォーム



新任医師のご紹介

よろしくお願いします

令和6年4/1着任 Introduction of new face

新しく正職員になりました。

専攻医から正職員になりました。



脳神経外科主任医長

ふくだ まき
福田 真紀



1年間、高知県立幡多けんみん病院で勤務し、4月より高知医療センターに戻ってまいりました。脳血管内治療を中心に、最新の治療と技術を勉強し、皆さまのお役にたてればと考えております。よろしくお願いいたします。



整形外科医長

ふじわら よしひろ
藤原 吉宏



岡山県からこちらの整形外科に赴任いたしました。高知県は学生時代に旅行に来て以来ですが豊かな自然とおいしい食べ物に感動しています。私は脊椎専門外科医として背骨を主に担当させていただいています。丁寧な診療を心がけますのでよろしくお願いいたします。



小児科副医長

おおの ゆかこ
大野 友香子



令和6年4月から、岡山大学病院より着任いたしました。こどものご家族によりそい、こどものよき理解者であるように努めてまいります。高知県の小児医療に貢献できるよう精進いたします。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



消化器内科副医長

くげ なおこ
久家 直子



今年度より着任いたしました。丁寧な診療を心がけ、高知県の医療に貢献できるよう、これからも精進してまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



血液内科・輸血科副医長

くずめ あゆみ
葛目 亜弓



4月に着任いたしました。患者さんとそのご家族に安心して治療を受けていただけるよう、そして高知県の医療に少しでも貢献できるよう精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



小児科副医長

ためふさ こうすけ
為房 宏輔



約4年ぶりに高知医療センターへ帰ってきました。久しぶりの高知での勤務を非常に楽しみにしております。やはり高知の美味しい食事は最高ですね。至らぬ点も多々あるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科副医長

つぼい かずま
坪井 一馬



4月から広島市立広島市民病院より着任いたしました。初めての土地で不慣れなことも多いですが、地域の皆さまのお役に立てるように日々精進いたしますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



精神科副医長

ふなこし さちこ
船越 祥子



4月に着任いたしました。福岡県出身で高知県に来て5年目になります。患者さんが希望する生活や人生を送っていただけるよう精神科医療に携わる医師として尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



救命救急科副医長

ほんじょう ももり
本淨 桃里



高知県で勤務したのち3年間埼玉県の内科・救急科で勤務し、このたび高知に戻ってまいりました。1年間救命救急科で勤務させていただきます。微力ながら、患者さんが安心してより良い医療を受けられるように日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科副医長

みやもと しょうたろう
宮本 翔太郎



出身は鳥取、医局は岡山、前住地は香川で、このたび初めて高知県にまいりました。日本海、瀬戸内海と見てまいりましたが、太平洋の雄大さに感激しております。診療に際しては納得いただける説明と治療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



消化器外科・一般外科副医長

やぎ ともひこ
八木 朝彦

岡山県から赴任してまいりました。医師11年目になります。担当は消化器外科の大腸部門です。高知県には観光やマラソンでしか来たことはありませんでしたが、自然が豊かで食べ物も美味しくとても住み心地がよくて気に入っています。誠心誠意、診療に当たりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



心臓血管外科

かど こうめい
角 宏明

4月より滋賀医科大学医学部附属病院より着任いたしました。まだまだ未熟ではありますが、心臓血管外科医として少しでも患者さんと医療に貢献できるよう尽力いたします。これからのご指導、ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願ひいたします。



泌尿器科

かねもと しん
兼元 信

こちらで初期臨床研修後、高知大学医学部附属病院、高知県立あき総合病院でそれぞれ1年ずつ勤務し、2年ぶりに戻ってまいりました。初期研修でお世話になった高知医療センターで勤務できることを嬉しく思います。高知県の医療に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



消化器内科

かわむら ゆうと
川村 祐人

昨年は本山町立国保嶺北中央病院で勤務し今年から再着任いたしました。消化器内科を主に担当しております。至らぬ点が多々あると思いますが高知県の医療に貢献できるよう努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひいたします。



脳神経外科

やなせ よんらん
梁瀬 瑛蘭

このたび高知市にある近森病院より着任いたしました。脳血管障害や頭部外傷などを中心に、チーム医療の一員として患者さんを少しでも良い状態にできるように励んでまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



児童精神科(精神科兼務)

なかむら さくや
中村 朔也

令和6年度に児童精神科に着任いたしました。将来的には児童思春期を中心に診療に取り組んでいく予定ですが、当面は幅広く頑張りたいと思っております。当院や他機関の小児科の先生方との連携も深めて行きたいと思っておりますので、機会がありましたらよろしくお願ひいたします。



放射線科

はまだ りょう
濱田 凌

高知県立幡多けんみん病院より着任いたしました。放射線科4年目となります。画像検査をもとに他の診療科の先生方と連携し、県民の皆さまにより良い医療が提供できるよう精一杯努めてまいります。今後ともご指導のほどなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



総合診療科

やまもと なお
山本 直

1年間高知県の佐川町立高北国民健康保険病院で勤務し、戻ってまいりました。地域で得た経験を高知医療センターに還元し、またこちらで得た経験を僻地の医療支援で還元できるよう尽力したいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



総合診療科

やまもと まさひろ
山本 将大

宿毛市の大井田病院で勤務しておりました。いろいろと旅をしましたが、高知県は世界で有数の食材が美味しいエリアです。これからも患者さんの背景を考えると共に、地域医療に貢献できるよう頑張っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



救命救急科

つの りゅうたろう
津野 龍太郎

今年度より正職員として救命救急センターで勤務することとなりました。まだまだ勉強することは多々ありますが、少しでも高知県の医療に貢献できればと思っております。精一杯精進いたしますのでどうぞよろしくお願ひいたします。





救命救急科

つるい さいか
釣井 採香

今年度より正職員となりました。引き続き、救命救急科にて高知県の医療に貢献できるよう日々精進したいと思っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。



小児科

つるい りゅうもん
釣井 龍門

高知県の皆さま、平時よりお世話になっております。小児科専攻3年目です。本年より正職員となり引き続き、こちらで勤務することになりました。本年度も昨年以上に高知県の医療に尽力したいと思っております。まだまだ至らぬ点ばかりですが、今後ともよろしくお願いいたします。



血液内科・輸血科

まつもと けん
松本 顕

高知に戻り2年が過ぎ、血液内科医としては3年目に入りました。いろいろな血液疾患でお困りの患者さんに、迅速かつ適切な治療が提供できるよう、引き続き努力をしております。今後ともよろしくお願いいたします。



精神科

やまもと だいすけ
山本 大介

4月より専攻医から正職員になりました。精神科医として高知県の医療に微力ながらも貢献できるように頑張っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



▼ 専攻医 ▼



放射線療法科

おぐら たくや
小倉 拓也

このたび高知大学医学部附属病院の放射線治療科より着任いたしました。まだまだわからないことも多いですが、西岡明人副院長のご指導の下、日々努力しております。何かとご迷惑をおかけするかと思います。精一杯努力いたしますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



放射線科

いわむら しんいちろう
岩村 晋一郎

高知大学医学部附属病院から着任いたしました。高知医療センターでの勤務は初めてです。分からないことだらけではありますが、画像診断・IVRどちらも全力で頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科

かねもと ひでか
金本 栄華

このたび岡山大学病院から着任いたしました歯科口腔外科の金本と申します。初めての土地で不慣れなことも多いですが、高知県の歯科口腔外科の診療に少しでもお役に立てるように日々精進しております。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科

はやし しょうの
林 奨之

高知大学医学部附属病院より着任いたしました。高知県の小児医療に貢献できるよう、子どもたちが安心して健やかに成長できる手助けができるように精一杯尽力いたします。至らぬ点多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



皮膚科

こうの まさき
高野 正暉

高知大学医学部附属病院皮膚科より着任いたしました。初期臨床研修医としてお世話になったこちらで再び働けることを嬉しく思っております。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々精進しておりますのでなにとぞよろしくお願い申し上げます。



救命救急科

おおにし まさみち
大西 正倫

こちらで2年間の初期臨床研修を終了した後、今年後より救命救急科専攻医として勤務することになりました。至らぬ点ばかりでご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、精一杯努力いたしますので引き続きご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



医療機関と

消防組織の

架け橋になります!!



写真提供:
高知市消防局

高知市東消防署東部出張所所属
(派遣元:高知市消防局)

救命救急センター 救急救命士 やまなか こうとく
山中 孝徳



何でも屋です



皆さま初めまして。私は令和6年4月に、高知市消防局から高知医療センターの救命救急センターに派遣されてまいりました。派遣期間は約2年の予定で、こちらで勤務する第1号の救急救命士となりました46歳の新人です。どうぞよろしくお願いいたします(「救命救急」センターの「救急救命」士というややこしい名称ですが、覚えていただければ幸いです)。

令和6年3月までは、高知市東消防署東部出張所の兼任救急隊員として現場活動をしておりました。兼任救急隊員というのは、救急車乗務が主な活動内容ですが、火災出動要請があれば消防車に乗り消火活動にもあたりますし、消火栓の調査も実施いたします。各施設の避難訓練等の指導や建築物の立入り検査等の火災予防業務も行う『何でも屋』です。



救急救命士の仕事



救急救命士という職種について、聞き馴染みがないかもしれませんので紹介させていただきます。平成3年に制定された救急救命士法に基づく国家資格を持つ医療従事者で、傷病者(患者さん)を搬送することしか許されていなかった救急隊のジレンマや、世論の高まりを反映してできた職種です。

医師ではない救急隊員が行えなかった医療行為を実施できるようにするため、「病院前救護」に特化した、いわば救急隊員のためにできたような資格であり、私はこの資格取得のために高知市消防局の救急隊員として5年間勤務後、一般財団法人救急振興財団救急救命東京研修所で約6ヶ月間の研修を経た後に国家試験を受験いたしました。近年、受験者は救急隊員を経験せず、大学や専門学校の養成課程を経て国家試験に臨む方もいらっしゃる、消防機関に属さない救急救命士が増えてきたことから、医療機関に勤務する救急救命士も散見されるようになってまいりました。しかし本来の目的は病院前救護なので、救急救命士が医療機関内で実施できる処置内容が曖昧であったことから、令和3年に救急救命士法が改正され、傷病者を医療機関に搬送後、「入院するまでの間」が救急救命士の活動対象となり、この問題がクリアされました。



架け橋になる



今後の大きな目標は、医療機関(高知医療センター)と消防組織(主に高知市消防局)との相互理解を深めることです。今はまだお互いのことが理解できていない部分も多いと感じております。焦る家族を前に急ぎたい救急隊と、緊急性は高くないと冷静かつ客観的に判断する医療機関側とのギャップがあります。救急搬送の前に医療機関が欲しい事前情報と、救急隊が伝えたい情報が異なっているということも多いと思っております。傷病者を救命する、苦痛を軽減するという方向性はどちらも同じはずですので、これらの問題解決に向け、両者の架け橋になれるよう努めてまいります。

また高知医療センターでは、ドクターカーやドクターヘリの運行を積極的に実施しております。私も運行スタッフの一員としてどんどん現場等に出向き、高知市以外の各地域の医療機関や救急隊とも連携を取っていききたいとも考えております。

※普通救急隊員が実施できる処置に加えて、救急救命士が実施できる具体的な救急救命処置(傷病者の状態や、救急救命士各個人の認定状況によって、可能な処置の範囲は異なります。)

- | | |
|---|----------------------------|
| ① | 自動体外式除細動器による除細動 |
| ② | 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保 |
| ③ | 食道閉鎖式エアウェイや、気管内チューブによる気道確保 |
| ④ | エピネフリンの投与 |
| ⑤ | エピペンの使用 |
| ⑥ | 血糖測定やブドウ糖溶液の投与 等… |



令和6年度 初期臨床研修医のご紹介



いけぶち はるか
池淵 遥香

今年度より初期研修医として入職いたしました池淵遥香と申します。患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、安心して治療に励んでいただけるよう努力いたします。研修医という期間を活かして、積極的に学び、一つひとつできることを増やしていきたいです。未熟者ではございますが、一日でも早く医師として皆さまのお役に立てるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



いまむら ゆうな
今村 優希

初心を忘れず、患者さん一人ひとりに寄り添うことのできる医師になれるよう日々努力いたします。将来的に進みたい診療科が決まっていないので、できるだけ広くさまざまなことに目を向けて知識を得られるように積極的に学んでまいります。至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでご指導いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



おおにし ゆき
大西 由記

今年度より初期研修医として入職いたしました。一人ひとりの患者さんやご家族の方の気持ちに寄り添い、少しでも不安を解消できるよう日々努力してまいります。また医療スタッフの方々にも信頼していただけるよう、目の前のことに真摯に向き合い、多くのことを学びたいと思います。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、2年間ご指導よろしくお願いいたします。



かねたけ りな
兼竹 里奈

今年度より初期研修医として高知医療センターに入職いたしました。患者さんやご家族に真摯に向き合い、信頼される医師となれるよう努力してまいります。一人前の医師となり高知県の医療に貢献するため、この2年間で多くのことを経験し、身につけられるよう積極的に取り組みたいと考えております。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



すずき ゆうすけ
鈴木 優介

はじめまして、こちらで4月から初期臨床研修医として勤務しております鈴木優介です。患者さんはもちろんのことコメディカルの方々からも信頼いただける医師になれるよう2年間頑張ります。研修医として知識と手技を1日でも早く身につけられるように積極的に学んでいきたいと考えております。至らぬ点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



たかさき げんき
高崎 元輝

今年度より初期研修医として入職させていただきました。医師として勤務するという責任感を持って働いていきたいと思っており、暗中模索の毎日ですが、目の前の患者さんに一生懸命向き合い日々勉強し続けていきたいと思っております。コメディカルの方々とも積極的にコミュニケーションをとり、チーム医療を行う一人として皆さまのお役に立てるように頑張っております。至らぬ点ばかりだと思っておりますが、今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。



たぐち あやか
田口 綾華

入職して1ヶ月が過ぎましたが、まだまだわからないことも多く、ご迷惑をかけてばかりです。心優しい患者さんや心強いスタッフの皆さんの存在に助けをいただきながら日々研修させていただいております。一日でも早く成長し、患者さんやスタッフの皆さんから信頼していただける医師になれるように一生懸命頑張ります。至らぬ点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



たなか ゆうや
田中 佑弥

今年度より研修医として働かせていただきます。患者さんに信頼していただけるような豊かな知識と確かな技術を身につけられるよう日々精進いたします。また患者さんの心身を癒やす治療ができるように患者さんに寄り添う医師を目指します。未熟者ですが、少しでも早く患者さんや医療スタッフの方々のお役に立てるように、初心を忘れず真摯に学んでまいりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



なかみぞ ゆう
中溝 結羽

高知医療センターにはさまざまな診療科があるため、初期研修期間内に多くの患者さんと接することで、知識や技術を身につけ、コミュニケーションスキルも磨いていきたいと思っております。未熟な点が多く、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、患者さんの不安を少しでも取り除けるような医師を目指して日々努力してまいります。これからも精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



なんば れいじ
難波 侖至

このたび入職いたしました難波侖至です。初期研修ではまず医療チームの一員であることを忘れず、常に患者さんのためにできることを考え行動することを目指しております。また高知県の癌治療に貢献できる腫瘍内科医になれるよう研鑽していきたいと考えております。不慣れな点が多くご迷惑をおかけしますが、その時々でできることを精一杯努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



のま みく
野間 美羽

本年度より初期研修医として入職いたしました野間美羽と申します。まだわからないことも多く戸惑ってしまうこともあります。少しでも早く患者さんやスタッフの皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。幼い頃から水泳をしており体力には自信があります。その経験を活かし何事にも積極的に挑戦していきたいです。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



はしもと たけひろ
橋本 健弘

今年度より初期研修医として入職しました橋本健弘です。患者さん一人ひとりに真剣に向き合い、信頼いただける医師になれるよう日々精進してまいります。高知医療センターでの2年間の研修で、積極的に学び多くのことを吸収したいと思っております。わからないことや至らない点も多くあり、患者さんやスタッフの方々にたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



はた ゆりか
畑 優里佳

今年度から初期臨床研修医としてお世話になっております。2年間という短い貴重な期間で、今の自分が何を学ぶべきかをしっかり考え研修していきたいと思っております。まだまだ未熟ではありますが、患者さんが一番に考え、寄り添うことができる医者になれるよう頑張ります。ご迷惑も多々おかけするかと思いますが、日々少しでも多くのことを吸収しようと努力いたしますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



やました さち
山下 紗知

4月からこちらに入職いたしました山下紗知と申します。医師としての土台を築く大切な期間である初期研修の2年間で、多くの知識や技術を習得し、成長できるよう日々精進してまいります。そして苦しみや喜びに共感し、患者さんやご家族に寄り添うことができるような医師を目指してまいります。至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

影の立役者



画像診断

がんセンター
RIセンター長 いわさ ひとみ
岩佐 瞳

● 画像診断と報告書作成

画像診断部門ではCT、MRI、核医学検査の画像診断を行い、報告書を作成しております。核医学検査ではSPECT-CT検査に加え、PET-CT検査も行っており、PET-CT装置を備えているのは高知県下では当院を含めて2施設のみとなっております。

また院内の各科の医師だけではなく、地域医療連携室を介して地域の医療機関の先生方からご依頼いただいた画像検査についても診療放射線技師と協力して実施し、画像診断と検査結果報告書作成を迅速に行っております。

● 日常臨床に欠かせないCT、MRI

現在当院では、3台のCT装置(320列・64列マルチスライスCT、128列Dual-Energy CT)と3台のMRI装置(3T装置1台、1.5T装置2台)を使用して撮影を行っております。令和5年度の検査件数はCT検査が約23860件、MRI検査が約7950件と多くの検査を実施しております。CTでは2管球式Dual-Energy CTを備えており、管電圧の異なる2種類のX線を使用してCT撮影をすることで、造影効果の増幅や、造影剤を使用した画像から仮想単純CT画像が得られるといった利点があります。またMRIでは頭部、脊椎から四肢関節・腹部・骨盤・乳腺など幅広い検査を施行し、最近では前立腺癌の患者さんの骨転移検索を目的に全身MRI(DWIBS)も実施しております。

● 高知県下で2施設みのPET-CT

当院では平成29年のがんサポートセンター新設時よりPET-CT装置を備え、18F-FDGを用いたPET-CT検査を開始しています(図1)。現在では主に悪性腫瘍の診断に広く用いられているPET-CT検査ですが、高知県下でこの検査を実施しているのは2施設のみということもあり、院内から



当院のPET-CT装置

図1

の依頼だけではなく高知県内のさまざまな医療機関の先生方からも検査のご紹介をいただいております。令和5年度の検査件数は約920件でした。現在の保険適用疾患としては、表1に示す通りですが、当院では悪性腫瘍(早期胃がんを除き悪性リンパ腫を含む)、心臓サルコイドーシス、大型血管炎の検査を実施しております。

表1

FDG PET-CT検査の保険適用疾患、適用要件

悪性腫瘍 (早期胃がんを除く)	他の検査又は画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者 (「〇〇癌の疑い」は適応となりませんのでご注意ください)
心疾患	①虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断(他の検査で判断のつかない場合に限り) ※現在、当院では検査をしておりません ②心サルコイドーシスの診断(心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコー所見を認める場合に限り)又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者
高安静脈炎等の 大型血管炎	他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者 ※現在、当院では検査をしておりません

核医学検査についてはSPECT-CT装置も備えており、腫瘍・炎症・脳・甲状腺・肺・肝臓・消化管・腎・骨・その他病変の種類や臓器の機能など目的に応じて多岐に及ぶ検査を施行しております。

● 病院の診療の質や 患者さんの健康の向上に貢献

画像診断部門では今後も診療放射線技師と協力し、適切な画像検査の実施・迅速な報告書作成を通じて『病院の診療の質』や『患者さんの健康の向上』に貢献していきたいと思っております。画像検査が必要な際にはぜひご依頼いただければ幸いです。

昨年末にアルツハイマー病の疾患修飾薬としてレカネマブが保険適用となったことで、最近注目されている脳アミロイドPET検査の開始に向けても準備を進めていきたいと考えております。



放射線科には現在8名の医師が在籍し、画像診断(CT・MRI・核医学)とIVR(interventional radiology)の診療を行っております。現代の医療において画像診断の役割はとて大きなものとなっており、高齢化先進県である高知県においては、低侵襲に行えるIVRも重要な診療のひとつではないかと考えております。

IVR「画像下治療」: X線やCT、超音波などの画像診断装置で体内を見ながら、細かい医療器具(カテーテルや針)を入れて、標的となる病気を治す治療

IVR

よしまつ りか
放射線科科長 吉松 梨香

● 全国有数のIVR施設

当院の年間のIVR件数は約1500件に上り、四国では1位、全国でも15位と、全国有数の症例数となっております。またその内容は多岐にわたります表2。その中でも特に、上肢における皮下埋没型中心静脈ポート(CVポート)留置については全国最多の件数を行っております。

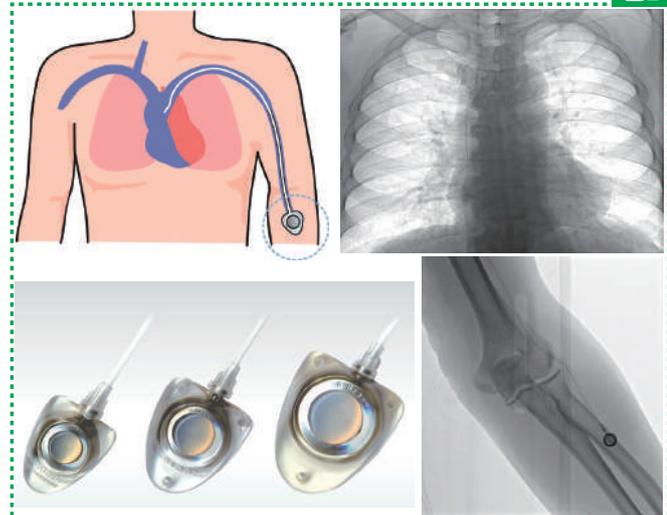
表2

脈管に対するIVR 動脈: 大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術時の血流改変 末梢血管に対するEVT 腹部内臓動脈瘤に対する塞栓術 静脈: 中心静脈カテーテル・リザーバー留置術 上下大静脈症候群に対するステント留置術 透析シャント不全に対するIVR その他: 脈管奇形に対する塞栓術 リンパ管に対するリンパ管造影 血管内異物除去	腫瘍に対するIVR HCCに対するTACE・TAI 肝臓に対する肝動注リザーバー留置術 転移性肝臓に対するTAE・TAI 頭頸部腫瘍に対するTAI その他の悪性腫瘍に対するTAE・TAI 腫瘍に対するアブレーション治療 (肝、腎、肺RFAなど) 経皮的生検
検査のIVR 出血(腹腔内、消化管、骨盤、嚥血など) に対する塞栓術・ステントグラフト内挿術 急性腸管虚血に対する血栓溶解・吸引療法 ドレナージ(膿瘍、胆管、胸腹水など)	門脈に対するIVR B-RTO PTO 脾動脈塞栓術(PSE) 術前肝内門脈塞栓術(PTPE)
閉塞期IVR ドレナージ(ドレーン交換、ドレナージ) 出血に対する塞栓術、ステントグラフト内挿術	緩和IVR 経皮経食道胃管挿入術(PTEG) 消化管ステント 胆管ドレナージ

● 患者さんの負担軽減を最優先

CVポートは化学療法や中心静脈栄養管理において、患者さんの負担軽減に寄与しております。当院では前腕留置を主体としていますが、これには通常の点滴と同じ部位にポートを留置することにより穿刺における患者さんの恐怖心を軽減できるという利点や留置手技が簡便という利点があります図2。

図2



地域の医療機関の先生方にもご依頼頂き、CVポート留置や末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)留置を外来

診療として行っております。また留置後の滴下不良や感染等のCVポートトラブルにも対応しております。

● 新たなIVRとして

最近、肝臓以外のラジオ波焼灼療法(RFA)を取り入れました。RFAはアブレーション治療の一つとして平成16年に肝悪性腫瘍に対して保険収載されて以降、肝臓における局所治療として良好な成績を収めてきました。令和4年にその適応が拡大され、小径腎悪性腫瘍や標準治療に不適・不応な肺悪性腫瘍、悪性骨腫瘍、類骨骨腫、骨盤内悪性腫瘍、四肢・胸腔・腹腔内の悪性腫瘍に対するRFAが保険収載され、当院でも腎癌をはじめとし、肝臓以外に対するRFAが施行できるようになりました図3。

図3



今後は手術が難しい患者さんの治療の一助となればと思っております。また化学療法不応の悪性腫瘍に対し疼痛等の症状緩和目的のRFAを行うことがあり、RFAは緩和医療の一端も担っております。当院ではその他にも、経皮経食道胃管挿入術(PTEG)や上下大静脈症候群に対するステント留置術等の緩和IVRも積極的に行っております。

● 高齢化県に対応

高齢化県に対応すべく低侵襲治療であるIVRを効果的に安全に提供できるよう、日々励んでまいりたいと思っております。

今後とも高知医療センターの放射線科をどうぞよろしくお願いたします。



『腎臓内科・膠原病科』への紹介患者さんの受入れ停止のご案内

腎臓内科医師の業務負担軽減のため、当面の間は同科への患者さんの紹介受入れを停止いたします。また現在、当院にかかられている患者さんにつきましては、これまでどおり診療を継続いたします。受入れ再開の折には、改めてお知らせいたします。患者さんおよび地域医療機関の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

～イベント情報～

心のケア1

精神症状のアセスメント

講演者名

岡村邦弘
精神科認定看護師

日時 令和6年7月17日(水)
17:30～19:00

場所 1階研修室2・3

参加費 無 事前申し込み 7/3(水)
*集合研修です
*学生は、高知県立大学学生のみ可

対象者 看護師(10名)

第56回(令和6年度第1回)
高知医療センター地域がん
診療連携拠点病院公開講座
県民のみなさま、患者さん、
ご家族の方、医療に携わっている
みなさまを対象にがん治療の
現状について

講演者名

精神科科長 澤田 健
腫瘍内科科長 根来 裕二
消化器外科医長 高田 暢夫

日時 令和6年7月20日(土)
開場13:30～ 講演14:00～16:30

場所 ゆずはら・夢・未来館 大ホール
(高知県高岡郡橋原町橋原1426番地2)

参加費 無 事前申し込み 無

対象者 一般 / 医療関係者

お問い合わせ先 高知医療センター 経営企画課
Tel: 088-837-3000(代)

第35回
高知医療センター外科
グループ手術症例検討会
当院外科グループにご紹介
いただいた症例についての報告会

講演者名

高知医療センター
外科系医師 数名

日時 令和6年8月7日(水)
19:00～21:00

場所 高知医療センター 2階 くるしおホール
zoomによるweb開催(ハイブリッド開催)

参加費 無 事前申し込み 7/31(水)
詳しくはHPをご覧ください

対象者 医療従事者

お問い合わせ先 地域医療連携室
Tel: 088-837-6700

心のケア2

①不安・抑うつ状態の
患者の看護

講演者名

岡村邦弘
精神科認定看護師

日時 令和6年8月21日(水)
17:30～19:00

場所 がんサポートセンター
4階研修室

参加費 無 事前申し込み 8/7(水)
*集合研修です
*学生は、高知県立大学学生のみ可

対象者 看護師(10名)

心のケア2

②怒り、攻撃性の高い
患者の看護

講演者名

岡村邦弘
精神科認定看護師

日時 令和6年9月4日(水)
17:30～19:00

場所 1階研修室2・3

参加費 無 事前申し込み 8/21(水)
*集合研修です
*学生は、高知県立大学学生のみ可

対象者 看護師(10名)

成人 BLS/AED 研修

院内 BLS
インストラクター

講演者名

日時 令和6年9月19日(木)
9:00～12:00

場所 2階 スキルズラボ室

参加費 無

事前申し込み 9/5(木)

*事前に学習資料を配布します。資料郵送先を記載
してください。

*当院に集合し、演習を行います。

対象者 看護師(2名)



information

～ 診療予約・診療受付 ～



※詳しくは下記 URL か二次元コードよりご覧ください

外来診療時間 午前 8:30～12:00 午後 1:00～4:30 (土・日・祝日・年末年始は休診)

一般の方から各種お問い合わせ

TEL 088-837-3000 (代)

発行元：高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL 088(837)3000(代)

発行者：小野 憲昭
編集者：地域医療連携室
印刷：株式会社高陽堂印刷



高知医療センターホームページ
https://www2.khsc.or.jp

最新情報はこちらから▲



地域医療センター 公式 LINE

にじ2024年7月号(第195号)
発行：令和6年7月1日



地域医療連携通信「にじ」
に関するご要望・ご意見は
「renkei@khsc.or.jp」
までお寄せ下さい。

